

令和6年2月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年 2月20日 (火)

10:00~12:30

場所 波佐見町役場 第2会議室

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
富木委員、松尾委員

事務局：朝長次長、太田係長

1. 出席者の確認 渡邊指導主事欠席

2. 会議録署名委員氏名

山下委員、富木委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(1月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

1・2月事業報告、2・3月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

1・2月事業報告、2・3月予定について

(別紙によ太田係長報告)

※報告事項 (追加・その他)

森田教育長

加えまして、2月の報告で14日、旧庁舎を使って佐世保、長崎、佐賀の国際消防隊の救助訓練が、旧庁舎解体前に行なわれております。それと19日月曜日、スポーツ協会理事会があつて、ロードレースのことについて話し合いを行いました。

予定の部分で、先ほど給食センターの方からもありましたが、2月28日から3月1日まで、中学校の職業体験がコロナ禍を超えて久々復活しました。今回は、給食センターとか、小学校とか、いろんなところに職業体験を行っています。ただ、こども園はまだちょっとコロナ禍が怖いということで、子供たちの希望は高くはありましたが、来年度以降かなと思っています。

先ほどの挨拶運動ですが、確かに去年そういう話がありましたので、学校と話をしてみたいと思います。

松尾委員

月曜日ではないと駄目ですね。

森田教育長

もちろん始業式とかいろいろあるとは思いますが、基本は第1月曜日だと思います。新1年生が入ってからの方が良いとなれば、その次の週になるとと思います。学校には確認しておきます。

3月20日から25日まで、伝統工芸士の会員展が講堂の方で予定されています。3月29日金曜日、教職員の退職辞令交付式、教育委員の皆さまもご参加いただく形になっていますが、時間帯については、後日お知らせをしていきたいと思っています。

馬場委員

毎年、退職者は大体3人ぐらいでしたね。

森田教育長

後でご説明いたしますが、今回はちょっと多いです。3月29日金曜日です。午後からよろしく願いいたします。

先ほどのたい平さんの件は、いま旬の人で、武蔵美出身の方なので芸術系、デザイン系はとても素晴らしく、30年来、波佐見町との関わりがある、縁があるということでした。来月も羽田空港でたい平波佐見展という自分がデザインしたやきものの販売会をされるということで、東京の松阪屋デパートでされた販売会は、初日で完売したそうです。そういう波佐見に対する愛着持っていらっしゃって、いろいろなところでアピールをされているので、是非ふるさと大使等々のお願いができないかと町長が話をされたところ、前向きに検討していきたいというお返事でした。独演会も、小学生が10数人見に来ていましたが、大笑いしていました。何人か子供たちと話をして、どうだったか感想を聞いたところ、めちゃくちゃ面白かったという返事が返ってきました。どんなところが面白かったか聞いたところ、扇子等々を使ったうどんとか蕎麦とかが面白かったと言いました。やっぱり子供たちにも、それが見えたんですよね。子供たちが見えたという創造性の部分を豊かにするには、こういうことかなあと考え、反省会の中でたい平さんに、是非子供たちにも時間をとって落語を聞かせていただきたいとお願いをしたところ、前向きに分かりましたという返事をいただきました。今の笑いというのは、テレビとか見ていると、何か瞬間的に体を使って、その場所だけの一瞬の笑いだと思っています。しかし、たい平さんの笑いは、計算され尽くした中に、ちゃんとストーリーがあって、落ちがあって、笑う場所があって、素晴らしい笑いを創り出すというところのプログラムというか、それが凄いと感心させられます。それと伝統的な話題の中にも、今の旬の話題を上手に入れられて、新しい笑いを想像させられたりもします。今回も途中退席される方がいらっしゃって、その方にポンと話を振って、おじいちゃん、何か用事があるとねと、急な振りからまた話が広がって、まだ帰ってこられないなとか、そんな話の展開で凄いなと思いました。計算されている笑いと、その場の旬の笑い、ハプニングを笑いにするとか、そういう専門性を改めて感じさせていただいて、是非こういう機会は設けさせていただければありがたいなと思いました。

議員さんからも、近頃は波佐見町の文化的な行事に対して、とてもあり

がたいという意見も伺っています。

スポーツ関係でも、プロスポーツを見る機会について何か工夫出来ないかと、今回一般質問でも上がっています。それにはどうしてもハード的な部分でなかなか難しいところもあるし、スポーツ協会やプロスポーツ団体から、波佐見町でどうですかという声があれば、もちろん手を挙げていきたいと思っていますが、こちらからアクションを起こすとなるとなかなか難しいところがあります。幸いなことに、Vファーレンとヴェルカがあるので、そこら辺りをうまく使えないかなあと思ってもいます。また、バレーボールとかバスケットあたりは、何とか本町の体育館でもできるかなと思いますが、野球、陸上、サッカーとなると、なかなか出来ないところもあります。情報を共有しながら、プロスポーツ、あるいは本物の文化といえますか、芸術というものについて、子供たちや地域の方々に広く今後も情報提供を行っていききたいと思っています。

以上、つけ加えた部分も含めて、お尋ね、ご意見があったらお願いいたします。

馬場委員

県警音楽隊の演奏が、今度またいきいき大学でありますよね。同じ内容ですか。

森田教育長

1時間しかないのです、ほとんど同じだと思っています。元々2月のいきいき大学をお願いしようかと思いましたが、恐らく観客が多くなるから、ちょっと厳しいと言われました。それで、そこを何とかお願いしたら、3月2日だったら、また来れると言われましたので、お願いをしてきていただくことにしました。内容的には1時間ですし、多分同じようなものになるだろうと思っています。ただ今いきいき大学は、参加者が150人ぐらいの方しか来ないので、もったいないと思い、この前素晴らしかったので他の方にも呼びかけたらという話になりました。しかし、もしそこにたくさんの方が来られたら、今度はいきいき大学の会員さんが聞けなくなっても困るねとなり、では、どこまで声を掛けた方が良いのかという話になりました。いきいき大学の会員さんのご家族まで広げていったら良いのではないかとなりましたが、いきいき大学の会員さんは今250名いらっしゃいます。でも来られる方が150名ですが、一応250人の会員の方が1名連れてきたら、それで500人になり、2人連れてきたらオーバーするのでダメだとなりました。何人と呼びかけなかったら片方は3人連れてきました、片方は連れてきませんでしたということも、それまたアンバランスになるね、それと会員が連れてこられた人は無料で入れて良いのだろうかとか、いろいろ考えれば難しいねということになり、最終的に落ちついたところが、郡内の中学生と高校生の吹奏楽部と合唱の子供たちには声を掛けしてみようということで、全て声掛けしました。ところが、ちょうどその日が、郡内三つの中学校の吹奏楽部が合同練習をもともと予定していたということでした。それも波佐見町で、しかも総合文化会館でやるようにしていたということで、ちょうど午前中はパート練習を入れていて、午後から

大ホールで合同練習を行うことがもともと決まっていたということでした。県警も聞きたいけど、やっぱり貴重な練習の時間なので、ちょっと今回は参加出来ないということでお断りになりました。そして波佐見高校も、川棚高校も別の行事が入っていたので、どうしても参加が出来ないということで、中学生高校生の参加が叶いませんでした。ちょっと寂しい形での演奏会になるかなと思っています。しかし最初にお願ひした時に一応150名ぐらいの人数ですということは伝えているので、曲目的にも良い曲目をしていただけるかなということで期待はしています。向こうは向こうでそういう思いでいらっしゃるし、いきいき大学の会員さんたちにも喜んでいただけるというぐらいの素晴らしい内容だったので、とても期待をしているところです。

馬場委員 この前の11日だったかな。凄かったですね。初めて聞きましたが、上手でびっくりしました。聞いたところ自衛隊と一緒に音楽隊に入るのは難しいみたいですね。だからうまかったですね。非常に良いコンサートだったと思います。

山下委員 コンサート中に、振り込め詐欺の注意喚起とか入れていただいていたので、いきいき大学の方とかにも良いかなと思ひました。実際、自分の親を見ている電話とか掛かってきた時、不安があるということなので、多くの方に啓発ができればなと思ひました。

馬場委員 有料だったんですか。無料だったんですね。多かったですね。

森田教育長 県警が県内各地を毎年回られていて、今回がたまたま波佐見に来られて、その際お願ひしたら今回も無料で来ていただけるようお願ひしました。

とても上手で良かったです。一部で進行していた女性は東彼杵町の人で、関係者の方も来られていて、前の方の席は招待客の方々の席でした。曲も私たちが良く知っている曲でしたので、乗り易かったところもありましたし、いきいき大学の皆さんにも多分喜んでいただけるのではないかとと思っています。

馬場委員 そうですね、歌謡曲とか昭和の曲とかですね。それ以外の曲も良かったですね。丁度波佐見中学校吹奏楽部が充実していた時期に演奏していた曲の演奏があつていて、私も感動しました。

山下委員 吹奏楽コンクールの課題曲とかですね。

森田教育長 素晴らしかったです。是非中学生の吹奏楽部にも聞くチャンスが欲しかったですが、あと中学生にも声を掛けようかとも思ひましたが、土曜日だったので、難しいと判断しました。

併せて、3月のいきいき大学は閉校式で、最後のアトラクションはギタリストの山口修さんをお呼びしてやっていきたいと思っています。

他ありませんか。はい、それでは、次、予算査定結果についてをお願いします。

朝長次長

5ページをお願いします。6年度の主な教育委員会関係の事業でございます。

【資料にて説明】

以上でございます。

森田教育長

エレベーターについては、国のバリアフリー化に沿った形で、該当児童生徒の絡みから、まずは中学校から行い、令和9年度まで掛けて残りの小学校につきましても、エレベーター、それから車椅子対応のトイレを設置していきたいと思っています。スロープについては、ほぼでき上がっているところもありますが、令和9年度あたりまで年次的に計画をしていきたいと、今進めているところです。

南小の音楽室の床の張替えについては、ハウスダストでどうしてもアレルギーが心配という学校側の要望がありましたので、健康面への配慮ということで、中央小学校のワークスペースももちろんそうでしたが、そういうふうに段々になっていくだろうと思っています。

学校給食の完全無償化は大変ありがたいと思っていますが、もうマスコミ等々でもご存じのように、諫早市、そして南島原市も来年度から完全実施をするということで、先日報道がございました。情報では東彼杵町もされるようですね。総合教育会議でもお話しはしていましたが、子育て世代への支援、あるいは移住定住促進、少子化対策、あるいは子供への投資という考え方で、入学準備金、あるいは通学補助等についても一応要望はしましたが、検討を始めていきましようという形で今のところの回答があります。ただ、県内、国内の自治体では、やはりこういう入学に対する準備とか、通学補助というの、かなりの自治体で動きがあるようなので、有効な手だてとして今後研究検討、そして前向きにやっていただければありがたいなと思っています。

講堂につきましては、これからの文化芸術の殿堂として波佐見の拠点となる発信基地になると考えたとき、町内外の方々に、広く親しまれるという部分、芸術性が高い部分もあると思いますが、親しみ易さというところを多分求めていかなければと思っています。そう考えたとき期間限定ではなく、やっぱり年中使える施設になることはとても大事だろうと、空調についてはとても大事だと町長の方も十分理解はいただいていると思います。しかし、建物が何しろ古いですから、工法としてどうすれば良いのか、可動式にすると音がうるさいとなるだろうし、吊り下げ式にすると施設を傷つけてしまう、床にすると先ほど説明したとおりで、どう対応すれ

ば良いのかと思っています。何か工法が見つければ、前向きに検討はしていくということで、査定としては当初はゼロで、年度内に補正予算で対応し、令和7年度の国民文化祭には、間に合わせたいと思っています。出来れば6年度中には何か形にしていきたいと思っていますので、今後教育委員会としても丁寧に、かつ早急に、工法について専門的なご意見をいただきたいと思っていますところ です。

継続事業は、支援員の増については、ありがたいことにこちら側が要望したものをほぼつけていただきました。人数は増やしましたが、人が集まらない現実があります。募集を掛けてもなかなか応募がありません。同時に、現職の人が辞められていきます。それは金額面です。やっぱり大村とか佐世保に比べると、どうしても給与面で大変厳しいところがあって、収入が大変きつところがあるので、大変申し訳ないけど、3月をもって辞めたいという方が4~5名いらっしゃいます。だからここら辺りは町全体の課題として、検討していかないといけない部分であると思いますが、とにかく人を見つけなきゃいけないと思っています。もし、委員さんのお知り合いの中で、子育てとか学校教育等々に興味があられる方がいらっしゃったら、是非紹介いただければありがたいと思っています。

芸術鑑賞事業につきましても、劇団四季さんだとか、あるいは昨年度佐世保で、長唄とか、琴とか、鼓とか、そういうものの鑑賞とワークショップ、親子体験プログラムをされていますが、それが大変好評だったということで、この前打合せは一応行いました。芸術文化事業で文科省の事業ですから、補助はあるだろうと思っています。今のところ、もし町の方で出来なければ、南小学校のわくわくワークDAYの前半部分とか、中学校での音楽のカリキュラムとしてやっていきたいと学校から意見要望が上がっているところではあります。

はい、予算関係で説明をしましたが、ご質問ご意見ご要望等ありましたらお願いします。

富木委員

講堂の管理ですが、講堂はいつも夜間電球が二階の片隅がついていますが、たまたまこの前、前を通ったので、係の方にいつもついているねって言ったら、スイッチが切れないという話でした。防犯上良いのかなと思っていますが、古い建物ですので漏電の定期点検などはされていますか。

森田教育長

一応、防犯用ということで付けているようです。確かに、今日のニュースで神戸の古い旅館の建物が、火事で全焼していました。定期点検的なものは行っていますが、やっぱり古い建物っていうところもあるので、可能性もゼロではないなと思いつつ見ていました。もっと講堂をうまく使えたら良いなと思っています。中尾鬼木の文化的景観もそうですし、新たな観光資源、新しいものを作るということではなくて、古き良きものをどう活かしていくかというところに視点を置くことが、むしろ波佐見らしいのではないかと思います。波佐見町全体が文化的景観だと思っているので、波佐見町全体でそういうアピールをしていくことはとても大事なので

はないかと思っています。ディズニーランドみたいな公園を作るとか、そういうものではなく、波佐見の自然とか、営みとか、生業あたりを魅力として発信をしていくところが、本町のもしかしたら一番、特色であり、自慢になるのではないかと思っています。そういう部分に、講堂とか、あるいは中尾鬼木の文化的景観とか、あるいは西の原もちろん含めてですね、そういう魅力発信が出来たら良いのかなと思っています。本町には中野、盛山という全国レベルの学芸員が2人いるので、彼たちを本当にうまく使いながら、地域発見につなげていけたらと思っていますところでは、はい。それでは、議題の就学認定についてお願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 今回は68名の申請が上がってきています。まず、継続申請が62件、経済的理由が30件、児童扶養手当が32件。それと新規で4件、経済的理由が2件、児童扶養手当が2件。それとあと非認定ということで、経済的理由が4件、認定基準の1.2を超えたということで申請がそれぞれあっております。

【資料に基づき説明】

森田教育長 では、何か意見があらわれますか。あられないようであれば全員認定ということでよろしいでしょうか。

【委員全員了承】

ありがとうございます。では次、人事については、時間も迫っていますので一番最後にして、その他と持ち寄りを先に進めたいと思います。

5. その他

1) くらわんか藤田コレクション展について

2) 令和6年度波佐見町年間行事予定表について

朝長教育次長 先ほども説明いたしました、くらわんか藤田コレクション展は、3月20日から5月27日まで行いたいと思っています。あと6年度の年間行事予定は、6ページ以降つけていますので、来年度はこういう形で行いたいと思っています。以上でございます。

森田教育長 今話題になっている、少し波佐見町の様々な活動が多過ぎるのではないかと、町あるいは各種団体、地区等々のイベント催物がやや多過ぎて、関係

者の疲弊やあるいは参加者の減少などマイナスの面が少し出てきたところもあるようなので、全体的に精選淘汰をする時期に来たのではないかと考えております。少し、そういう声も出てきていますし、馬場委員も、この前の生涯学習の時、社会教育委員として、委員長としての思いの部分で、全体的なことということで呼びかけをしていただきました。今からもスクラップアンドビルドで、何かを始めたなら何かを止めるとか、もうこういうところは統合しようとか、そういう視点でやっていかないと、増やすことだけしていくということが、返って良いのかどうか、今後の新しい課題なのかと思っています。新しく今ふうな課題なのかなと。

持ち寄り議題で何かありましたらお願いします。

4. 議題

5) 持ち寄り議題について

- | | |
|-------|--|
| 馬場委員 | まず修了式は3月22日でよろしいですか。 |
| 森田教育長 | 修了式は3月22ですね。それから離任式もその日に多分行われます。 |
| 馬場委員 | それから4月の新学期については。 |
| 森田教育長 | 始業式が8日ですね。そして、中学校の入学式が9日、小学校の入学式が10日になります。また、ご案内があると思います。 |
| 馬場委員 | すみません。私ちょっと予定を変更しまして、小学校の卒業式ですが18日行くようにしました。出来たらすいません中央に行きたいんですけど、いかがでしょうか。富木委員に東に行ってもらって、どうでしょうか。 |
| 山下委員 | この件ですけど、昨年までは3小学校に、教育長と教育委員が2人、入学式、卒業式で分かれて行っていました。今回からは両方とも行くみたいな感じでよろしいでしょうか。 |
| 森田教育長 | 委員さんは4人いらっしゃる、私を入れて5人なので、3人は行っているけど2人は行かれてないということですか。 |
| 山下委員 | 卒業式はこっちの2人で行って、入学式は別の2人が行ってとそんな感じで行っていました。今までは、教育長が卒業式に、例えば中央小に行かれたら、あと2人が東小、と南小に行って、入学式は教育長が東に行かれたら、別の2人が南小と中央小に行くことでよろしいでしょうか。 |
| 馬場委員 | コロナの前は皆行っていました。コロナになってから、入学式に行くグループ、そして卒業式に行くグループで分かれました。その前は小学校も |

全部行っていました。

森田教育長

そうかコロナで呼ばれなくなったからですね。だけど、教育委員会だけは事務局などで、参加させてほしいということで、グループで参加するようになったということですね。今馬場委員がおっしゃったように、以前は多分分担をして行っていたので、教育長と教育委員さんが2人で行く学校もあったし、1人のところもあったということだと思います。コロナ前に戻ったということですが、委員の方々が負担になれば、そのやり方を継承しても構わないだろうし、どちらかですね。卒業式入学式を続けて2回行くことになりますから、できればということになれば今までどおりのローテーションの方が良いのかもしれませんが。去年の控えがありますか。

朝長教育次長

持ってきていません。

馬場委員

やっぱり教育委員を知ってもらうためには、出た方が良くないかなと思います。そういった式典はないですよ。そういった場しか、皆さんに見られるという機会がないので、できたら教育委員は入学式、卒業式に出た方が良いのかなと私は思います。

森田教育長

それでは、コロナ以前に戻ることを原則として、どうしてもご都合が悪ければ、やむを得ないということで、この前決めたローテーションで、委員さんの方はお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

山下委員

はい。

森田教育長

小学校、中学校については、行ける人はみんな参加してもらいたいと思います。他に、持ち寄りございませんか。

松尾委員

ちょっと良いですか。PTA役員が、次の年度の役員を決める時期になってきています。中央小学校もそういう話が出ていて、本部役員、クラス役員、副、あとは文教、広報、体育とありますが、そうになると、結局保護者の中で何人かしか、PTA役員はしません。1年間何人かで常任委員会に集まることになっていきますが、本部役員以外の方たちを全員何かの役に就ける。私今年はしないではなくて、今年私文教しますとか、私文教のこと分かるから来年も文教して良いですよと、全員をどこかに所属させるというのはどうでしょうか。

森田教育長

そういう取組をしているところもあります。1人一役制みたいな形でしているところもあります。しかし、それはあまり好きではありません。結局は、行ける時に行きたい人が行けば良いと、その選択を本人に任せてしまおうと、私はもうこれには行かない、生涯学習の集いも申し込んでいないから行かないとか、決まった人が行けば良いじゃないですかみたいなところ

ろがでできます。プラスマイナスの部分があって、1人一役制で、自分の割り当てだけ行くということが果たしてPTA活動なのかという考えがあります。負担を考えれば多分そうなるって、でも意識としては、何かしら関わっていた方が良いのではないかという考えが、確かに今増えている、増えているとまでは言いませんが、確かそういうお考えもあるだろうと思います。しかし、各学校、町内全体でそれでやりましょうということは多分出来ないだろうと思います。規模とか、人数によっても違ってくるし、それぞれの活動状況がどうなのかというところもあります。それが一つの案としてPTAの方でまずはっきりそういう意見交換をされてみて、そしてその中でどういうふうになっていくかだと思います。

松尾委員 どういう仕組みで行おうとか、どういうふうに、何人にしようとか、これをどうしようとか話がありました。今もう決まっている係、文教とか、広報とか、幾つかに分かれている部分を、もっと細分化しても良いし、または纏めても良いし、そんな話も出てきました。役員に少し動きをつけると、みんな何かしら困っているんだなということが、何人かの保護者にでも伝われば、少しは変わってこないかなということ、懇談会の時に言った方がいました。

馬場委員 多いところは、やっぱりそうなるでしょうね。逆に、少ないところは6年間のうちに何かしなければならぬんですよ。それは多いところの悩みですね。地区でも一緒に、地区によっては自治会長は、誰がするかと、周り順番でやっているところもあるぐらいです。だから、ある程度の単Pの中で協議されてみてはどうでしょうか。

松尾委員 大きいところ、人数が多いところのメリットですか。

馬場委員 そこがあると思います。

森田教育長 6年間で1回ぐらいは役員をしましょうという形で回してはいますが。

松尾委員 今年度春に決めた役員さんが、役員の役割分団が全く分かっていなくて、周りの保護者が結構天手古舞になってしまって、そういうことがあったので。

森田教育長 結局6年間何もしたことがない人が、今まで何もされていない方が役員になって、ということですか。6年生が一番大変だと分かっている人は、早く役員とかして、6年間で何もしたことがない人がなったということですね。現実的にそういうことはよくあっています。でも、子供とかPTA活動に対しては、お互いさまとか、お世話になっているのでとかいう部分を持っていないと、したい人だけがするとかいうのは絶対宜しくないと思います。

富木委員 いま中央の選出はどういう方法でされていますか。

松尾委員 始業式の前の日に学年別で集まって、役員した人が抜けます。次に何人子供がいますか、この学年でしますかどうですか。次の下の子供の時にしますと言って逃げる方もいます。その段階で決まれば良いですが、そこで決まらなかったら、結局くじを作ります。

富木委員 私たちの時代は、顔の見えないところで役員がずっと決まっていました。というのは、投票で3票入った人が役員さんというふうな形でした。3票入った人に、本部の方から投票で決まりましたのでお願いしますとお願いして、断られたら、また次の方とかですね、そんな役員の決め方をしていたので、これではいけないと、やはり全員が顔の見えるところで話し合いをしましょうとなりました。そういう決め方を当時した覚えがありますが、そういったことでなった人も、推した人も協力していきましようということで、当時決めていました。

森田教育長 今日多分役員決めがあるぞと、今日は行かないとかね。当然出てきますね。保護者の方は、次は順番かなと大体分かってはいらっしやるでしょうけど、でもパスでも、そういうところは大事だと思いますが、いよいよ役員をしないといけないというところを持ってもらうことはとても大事だと思いますが、それを逃げる方法、避ける方法を何とか考えさせることも、あんまり宜しくないと思います。難しいですね。

でも、今まず単Pの規模的なものが違うので、中央小の単Pの方で話し合っていたきたいと思いますが、そういうことは多分どこの学校も同じ悩みだと思うので、町Pの一つの話題として、役員選出あるいはPTA活動、先ほどの在り方とか動員とかですね、そういうこともやっぱりコロナで背中を押された部分もあって、衰退の方向に今少しいっているの、そこを止めるというか、新しいPTAと言いますか、何が一番大事なのかということを考える絶好の機会になっているのかもしれない。

はい、他ございませんか。

馬場委員 一つ良いですか。生涯学習の集いで、先ほど教育長からお話がありましたが、自治会長の方から長いという意見が出たということですが、大体長いですよ。三部制はちょっと長過ぎると私も思っています。最後の家庭教育講演会の在り方ですが、これは考えた方が良くと思います。対象者がいなくて講演会があっているということは、おかしな話だと思います。

各地区の発表が四巡目を回っていますが、もともと教育委員会の主旨としては、地域を活性化させるためにしていることであって、こういった行事をすることによって、コミュニケーションを図るとか、盛り上げるとかという目的だったと思っています。しかし、今の発表はほとんどが、各地区の従来の行事の発表に終わっていると思います。それはそれとして、今

後の在り方として、次の五巡目をどうするかということ、ここで真剣に考えないといけないということを思っていました。発表というのは、結局先ほどの文化的なことにも繋がります。以前は、金屋だったと思いますがフラダンス、田ノ頭が大正琴をされました。これは発表するために講師を呼んで練習され発表をされましたが、そういった方々が残って、それが今でも残っています。この自治公民館活動発表は、一つはそういう文化的なものに継続してシフトしていくという目的もあります。何かをすることによって、住民が纏まって、そういったことをやりましょうということで、そういう発表の場もできてきたという経緯もあります。そこら辺りの主旨をもっとはっきりさせてやらないと、地区の既存の活動の発表だけでは、やっぱりちょっと違うのではないのでしょうか。それを聞くことは面白いですが、そこら辺りを考える頃ではないかと思っています。ですから、そういった発表で、五巡目を回すのか回さないのかということはある程度ははっきり私たちが決めていかないといけないところかなと思っています。今回だけではなくて、時間を掛けて話し合いをした方が良いかないと私は思っています。

森田教育長

家庭教育講演会を分離することも、教育委員会事務局だけで決めることではないので、こことか、社会教育委員さんとか、もちろん会長さんとか、学校とかちょっと集まって、協議しないといけないところを思っています。今馬場委員さんおっしゃったように、自治公民館発表と家庭教育講演会の在り方の方向性を確認していかないといけないと思っています。年度早々には示せばですね。

朝長次長

今度志折が勉強会をされますので、平野がされてそれで多分四巡目が終わり、五巡目に入っていきます。

馬場委員

だから今行っている地域を知るという勉強会は良いことだと思います。これはその発表にも繋がっていくと思いますので、良い方向性が見えたなということは思っています。こういったことを各地区でもやってもらいたいということで、そういうふうに進めていければ、やり易いかなと思っています。今から何か新しいことを立ち上げようとしても、なかなか地域の方には難しいですからね。

森田教育長

例えば2年前に、折敷瀬郷さんが郷誌を作って発表されました。また、浮立の地区は、浮立を公民館活動で頑張っているの、そこを披露するという形でも良いのかなと思います。それで今は、どこも同じように、うちの歴史はこうですよ、こんなことやっていますよという行事の紹介だけではなく、うちの地区に伝わるようなものを発表するとか、子供と一緒に演技をするとか、むしろそっちの方がもしかしたら良いのかも知れませんね。地区に伝わる数え歌とか、何かそういうふうなものを皆に広めていくというか、地区の独自性を発表するとか、纏まったものではなく、そんな

っていくと面白いかも知れませんね。

馬場委員 早急にそういう話合いをするべきですね。

森田教育長 是非、そういう意見交換の場、方向性を確認する場を設けていきたいと思えます。他ございませんか。はいどうぞ。

富木委員 教育委員になり久しぶり挨拶運動に二、三回出ました。私は宿の交差点で林電機さんの前に立っていて、具体的に言いますと、エレナの方からこっち向かってきて、ローソンに渡る横断歩道が青なのに渡らず、ドラ森の側の青を待ってドラ森側に渡り、次青になって林電機の前を通過して行きました。折角ローソン側が青になっているけど渡りませんでした。それがルールなのかなと思ってですね。

森田教育長 それは通学路との絡みがどうしても出てくるところがあるので、最終的に、浜陶前の歩道が整備されれば、恐らくエレナ側の子供たちはもう渡らないで、ずっと真っすぐ行くかもしれません。今浜陶さんのところが危なくなっているんで、今横断させて、駐在所のところまで歩かせ、そこに集まってから、そこを渡らせています。多分今通学路として認定されたところがあるので、そういう渡り方をさせているのではないかなと思っています。今鹿山の子供たちは役場前を通過して、今まで銀行まで役場前を渡らせて駐在所まで行かせていましたが、歩道橋ができましたので、渡らず通学路を変更しています。そういう状況によって、保護者とかと話合いをしていただいて、一番安全で効率的な通学路の対応をしています。今のところ、そういう渡り方をしていることがより安全だと捉えられているのではないかなと思っています。

富木委員 それともう一つ、私の職場が川棚なので、川棚小学校が150年の開校記念ということでされていましたが、波佐見はどうなのかなと思って、講堂を見てから、跡地の記念碑を見たところ、明治4年に開校されてました。調べたら153年でした。中央と東と分離したり、移転したりとかあって、この開校記念日の基準というのが何かあるのでしょうか。と併せて中学校があと2年しますと50年になります。

森田教育長 中学校も今おっしゃったように7年度が50周年で、中学校は準備をばちばちではありますがやっているようですが、小学校については全く無かったですね。もう1回確認したいと思いますが、恐らく、どうなのでしょう。

富木委員 明治4年と書いてあったと思いますが、記念碑を見てもう1回確認したいと思います。

- 森田教育長 150周年の話題が全然なかったですね。県内も国内も150周年というのは、ちょうど時期的だと思います。当然学校の閉校とかもあります。確認しときます。話題がないということは、多分3小学校とも違うだろうなと思いつつ、何かしらの理由で、分離とか移転とかあるのかも知れませんが。
- 馬場委員 中学校の50周年は、早く取り組んだ方が良くと思います。
- 森田教育長 校長会あたりでも把握されているようですので、PTAと連携を取っているんだと思います。
- 富木委員 もう一つ良いですか。テレビをこの前見ていた中で、最近の子供たちは水、水道水でもペットボトルの水でも、あるいは白米を、何かこう苦手としているというテレビを見ましたが、何かそういったことが給食でもあっているのでしょうか。結局、味のついていないものに抵抗があるのかだと思いますが。
- 太田係長 先生からお話を聞くと、今白御飯だけで食べずに、おかずとか汁物をご飯に全部入れて、猫まんまみたいにして食べる、別々に食べることが出来ない子供たちがいるという話です。なので、何らかの味をご飯につけて食べるということは、そういうことなのかなと思います。
そういうことしないで食べてと先生も話されるようですが、それが何か美味しいと言って、掛けることができるものは掛けて食べているようです。もちろん掛けて食べてもらう料理もありますが。
- 馬場委員 家庭で教えてもらっていないのかな。
- 太田係長 逆に、ご飯はご飯だけ、おかずはおかずだけ食べるという子供もいるみたいで、もうその家庭、家庭でいろいろみたいで、食べ方は人それぞれというみたいです。昔みたいに、これ食べたら次こっち、という三角食べとかしている子供は少ないのかなということのようです。
- 松尾委員 おかず、ご飯、デザート、牛乳を一個ずつ攻めていくみたいな食べ方をするとか、子供たちは言っています。
- 富木委員 もちろん職場でも、若い30代の職員は、ご飯食べながらコーラを飲んでますからね。
- 森田教育長 それは大人になってからかも知れませんが、小学校とか中学校の時には、そういう家庭科とかの授業の中で当然教えるべき内容ではあるとは思っています。三角食べは以前に比べると、それまで強くは言っていないです。以前はそういう食べ方を必ずさせなさいということで、給食はその場

であって、家庭で広げていくことが元々の家庭教育でしたが、今はそれをあまり強めの指導は行われていなくて、今おっしゃったように、ご飯をクリアしてというように、そういう食べ方をする子供たちが確かに増えてきたようです。また、ご飯とコーラとか普通考えたら良くないような組合せも、もう何となく出来ていないところは、そういう点では小中学校の教育の低下なのかもしれないし、家庭教育の部分ももちろんそうだと思います。

マナーとかは大人になってからの部分なので、身についた部分が出てしまう時に、やっぱりある程度ベーシックなものは、身につけさせなければいけないのかなあというところはあります。

馬場委員 家庭の躰ですよ。

森田教育長 その時だけではないですが、社会に出てからというか、やっぱりどうしても人間的なものを見られたりとか、そういうものがありますね。

問題ですよ。増えてきましたねえ。価値の多様化、個性とかすごくいい言葉ですが、本当にそれで良いのかというところがありますよね。まず、個性を伸ばそうとかの前に土台を作ってからではないとダメだと思いますが。そういう点では小中学校は土台作りだと思うので、保育園も含めてですね。

はい、他ございませんか。ちょっと今日は伸びていますので、あとちょっとご辛抱ください。それでは資料を配布します。

1枚目は、16日に行われた会議での議事録です。もうご存じのように成り手不足、若い教員の早期離職、定年前の退職ということが、今の教育界のとても大きな課題になっています。同時に、管理職、教頭への成り手がどんどん減っています。②の下段のところに、教頭受験者の減少というところがあると思いますが、R4は223名の受験者がいましたが、もう今は137名しかいません。どんどん教頭の成り手が減っているということが何故かというところに、学校としてあるいは教育委員会として対策を練らなくてはいけないかなあというところが書いてあります。

今年から定年が61歳になりましたので、その部分で、延長になった部分、病気だとか、育休産休の方とかの代替がそこで何とか賄える部分があったので、少しずつ、1番下のところ。欠員がマイナス50名近くの方がいらっしゃるとい、大変厳しい状況が今続いているところで、以前みたいに臨採の方とか、加配ということで担任以外の先生方を、要望どおりに配置することは今書いてあるとおおり、ただでさえ50名ほど足りていせんので、大変厳しい状況にあるということ、まずお知らせとご理解をしておいていただきたいと思います。では、お配りした資料に基づいてご説明いたします。

【資料に基づき説明】

何かお尋ねがあれば、お答えできる範囲でお答えします。そして、ご承認いただければ、県の方へ内示を上げていきたいと思っております。
これでよろしいでしょうか。

【委員全員承認】

それでは、ご承認いただいたということで、県の方に報告していきたいと思えます。

馬場委員

それでは、教職員の辞令が4月1日ですか。

森田教育長

新任と着任辞令は4月1日ですね。もう続けてですね、29日が退職辞令で、1日に辞令交付です。県の承認はもうありませんので、こっちで全部行います。

それでは、3月の定例会の日程を決めたいと思えます。

【日程調整】

それでは、3月は15日金曜の10時から行いたいと思えます。今日は長くなりましたが、以上で2月の定例会を終わりたいと思えます。お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和6年3月15日（金）10時00分から
波佐見町役場新庁舎

令和6年2月20日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	冨木 義典
	山下 祐子